

平成30年度 第2回 匝瑳市社会教育委員会議

会 議 録

- 日 時 平成30年10月30日（火）
開会 午後2時00分 閉会 午後3時15分
- 場 所 野栄福祉センター 2階娯楽室
- 出席委員 押尾悦子委員、石川浩之委員、依知川雅一委員、磯部範夫委員、
椎名和江委員、海宝由利子委員、伊藤敏江委員
- 出席職員 二村好美教育長
(事務局) 増田善一生涯学習課長
鎌形健公民館長
大川洋図書館長
宇井信一生涯学習班主査(統括)
熱田誠寛スポーツ振興班主査(統括)
1. 開 会 宇井主査(統括)が進行
2. あ い さ つ 押尾悦子議長、二村教育長があいさつ
3. 議 事 押尾悦子委員が議長として進行。
(1) 平成30年度匝瑳市生涯学習事業(9月末現在)の実施状況について、生涯学習関連事業は宇井主査(統括)、熱田主査(統括)が説明。
次に公民館関連事業(9月末現在)について鎌形館長、図書館関連事業(9月末現在)と八日市場図書館・公民館空調設備改修工事(Ⅱ期)について大川館長から説明。
(2) その他
なし。
4. そ の 他
11月8日(木)千葉市にて開催の「平成30年度千葉県社会教育振興大会」について、参加者の最終確認と乗車場所の確認をした。
5. 閉 会
詳細は別添会議資料による。

【協議内容】

議事（1）

委員A：生涯学習センターの各種講座の内容については、場所が生涯学習センターを主としているが、これは旧八日市場市として考えると公民館活動と考えて差し支えないか。

事務局：旧八日市場市として考えると、公民館活動と考えて差し支えない。

委員A：青少年相談員活動の促進の内容として、「そうさフロンティア学寮」は野田小・栄小と、共興小・平和小、豊和小・椿海小が対象となっているが、市内の他校はどのようなになっているか。また学校からの要望は無いのか。

事務局：現在、「そうさフロンティア学寮」の名称で開催されている通学合宿事業については青少年相談員を中心とし6月と9月、11月の計3回実施されている。委員から質問のあった6月に野栄中学校区で野田小・栄小、9月に八日市場第一中学校区から共興小・平和小、11月に豊和小・椿海小と、通学合宿事業を実施している。

また、中央地区の他、いわゆる八日市場第二中学校区では、匝瑳高校OBによる「さふさ委員会」と言う団体が、9月中旬に7泊8日で匝瑳高校内の合宿所にて実施しているため、現在、八日市場第二中学校区内の各小学校から生涯学習課への要望はない。

今後、要望があった場合には、青少年相談員会議にて調整していく。

委員A：各種スポーツ大会の開催について大変充実した印象を持っている。これらは小学生・小学校単位のスポーツ大会ととらえているが、最近、マスコミなどの報道で話題になっている教職員の過重勤務との兼ね合いはどうか。また、こうした大会が教職員の負担になっているようなことは無いのか、そして外部指導などの委託に進むような印象を持っているが、市内の現状を伺いたい。

教育長：今話題になっている働き方改革の件が挙げられている。またスポーツ庁からも運動部活動等のガイドラインも示され、これに伴い匝瑳市教育委員会としても9月に市独自の運動部活動の方針を示したところである。内容としては平日の部活動は2時間程度とし、週末の部活は3時間程度とする。部活動の休日は、平日に一日、土日のどちらかに一日設ける。また大会等で予定された場合は、振替をとって休養日に充てると言う方針を出している。

9月に定め、現在、順調に推移している。学校教育の面からも様々な手を講じており、職員の学校在校時間を週60時間以内にする通達を出しているので、タイムカード等を設置し、職員の出退勤管理、校務支援システムを導入して教職員の事務処理負担を軽減させている。

青少年相談員との関わり方については、市内の各地区で関わり方が違っている。スポーツ庁からの運動部活動の指導も社会人を起用する話も出ているが、実際は人材確保が課題となっている。現在、市内各学校では、顧問と一緒に指導する社会人もいる事を紹介させて頂く。

事務局：青少年相談員活動においては、次年度以降の行事は青少年相談員理事役員会議にて調整する。

委員B：のさか図書館の夜間は、職員は何人体制で行っているか。

事務局：2名で業務を行っている。